



# 支援のための関係づくり



支援する人も支援が必要な人も、できることを持ち寄りながら、役割を分担します。平常時から地域でのつながりを強め、助け合いの関係を築くことにより、災害時の支援をすみやかに行うことができます。

## 平常時

### 自治会・町内会・自主防災組織など

地域の災害対応体制づくり  
防災マップ、備蓄品の整備  
地域の見守り、声かけ  
地域での防災訓練の実施  
市町の防災訓練への参加  
個別計画作成への支援



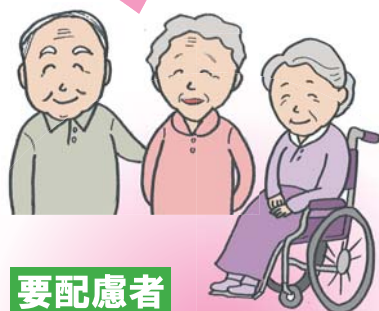
### 避難支援者

家庭内での防災対策の実施  
支援する要配慮者の見守り、声かけ  
家具固定など防災対策の支援  
防災訓練への参加



### 市町

避難所の指定  
住民への広報  
避難行動要支援者名簿の作成  
個別計画作成への支援  
研修・防災訓練の実施



### 要配慮者

避難行動要支援者名簿の情報提供への同意  
支援に必要な情報の提供  
個別計画の作成  
地域活動への参加など  
地域での関係づくり

### 民生委員・児童委員

訪問・見守り  
個別計画作成への支援



### 滋賀県

広域避難所の整備  
市町への支援  
県民の意識啓発  
災害や避難に関する情報提供など



### 消防・警察など

救助・防犯に関する取組の支援



### 社協・福祉事業者・福祉関係団体

福祉避難所の協定締結  
災害時の支援体制の整備  
避難行動や避難生活に関する情報提供  
施設の避難計画の作成



※役割分担は一例であり、市町により異なります。



## 市町の担当者が避難行動要支援者名簿や個別計画を作ったほうがいいのでは？

災害時の混乱の中、市町の職員が一人ひとりを把握し救助や避難誘導するのは、現実的には困難で、地域のみなさんの細かな支援が不可欠です。

いざという時にすみやかに避難ができるよう、要配慮者御本人と地域が積極的に関わって、名簿・個別計画の作成への御理解・御協力をお願いします。

## 災害時

### 自治会・町内会・自主防災組織など

災害や避難に関する情報の収集  
周囲への伝達  
安否確認  
応急救助等安全確保  
避難誘導  
避難所開設・運営の協力  
在宅避難者の支援



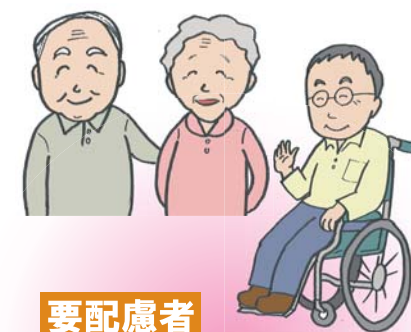
### 避難支援者

災害や避難に関する情報の収集・伝達  
近隣住民と協力し、安否確認・応急救助等安全確保  
避難誘導・避難所運営・在宅避難者支援



### 市町

災害や避難に関する情報提供  
避難所の開設・運営  
避難行動要支援者名簿の提供  
その他、様々な被災者支援



### 要配慮者

災害や避難に関する情報の収集  
必要な配慮や支援を伝える  
早めの自主避難

### 民生委員・児童委員

避難支援者・市町等とともに、被災者支援へ協力



### 滋賀県

広域避難所の開設や移送  
その他、市町間の調整  
災害や避難に関する情報提供  
その他、様々な被災者支援



### 消防・警察など

消火・救助活動、捜索、防犯活動など



### 社協・福祉事業者・福祉関係団体

福祉避難所の開設・運営への協力  
市町と連携し、被災者支援



※役割分担は一例であり、市町により異なります。



名簿に名前を載せるのは不安…



名簿を預かるのは大変そう…

災害時の支援は、まず「誰を支援するのか」を決めることが重要です。そのスタートが「避難行動要支援者名簿情報の提供」です。でも、名簿は個人情報なので「悪用されたら」という不安があっても当然です。だからこそ、安心して情報が預けられるように、地域でしっかりと管理する「仕組み」をつくり、名簿を活用しながら顔の見える「つながり」を強くすることが大切です。

**管理者ルール**

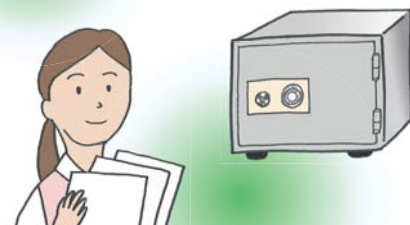
あらかじめ決められた  
管理者がしっかり  
管理する

**更新ルール**

毎年決められた時期に新しく見直す  
転居など不要になった情報はすぐに消去する

**保管ルール**

名簿は個人情報が入らないように管理する  
データはパスワードをかけておく  
災害時の支援以外の目的で使わないことを  
文書にしておく

**閲覧ルール**

指定された支援者以外には絶対見せない  
コピーをとらない



※ルールは市町により異なります。  
お住まいの市町にご確認ください。

### Q 名簿情報の提供に同意した人は必ず助けられるの？ 同意しなかったら助けられないの？

**A** 同意の有無にかかわらず、災害時にはお互いに助け合うことが基本です。また逆に、同意があっても状況により必ず助けてもらえるとは限りません。それでも、事前に支援すべき内容や留意点がわかっているほうが、速やかで適切な支援につながり、助かる確率がより高まります。情報提供への同意をぜひお願いします。

### Q 周囲の人に家庭内の状況を知られるのは気が進まない・・・

**A** 災害時には、家族がたまたま不在の場合や、家族自身が支援を必要とする場合があります。そんな時にも、安否を気遣い、訪問してくれるような頼もしいご近所の方がいれば心強く思えます。災害対策をきっかけに、日頃からあいさつをかわすなど、地域とのお付き合いを広げてみてはいかがでしょうか。

### Q 要配慮者本人が、同意や情報提供ができる状況にないのですが・・・

**A** 名簿の情報提供には、要配慮者本人の同意が不可欠です（原則として本人の同意がないと支援者に提供できません）。ただし、状況によっては代理での同意も可能な場合があります。市町の担当課へ個別にご相談ください。



計画を作るのは難しそう…



誰がつくるの？どうやって作ればいいの？

個別計画（一人ひとりの避難計画）は、地域のみなさんが安全に避難するために「どんな助けが必要か」、「誰が支援するのか」をはっきりさせながら、少しずつ作成していきましょう。

私は、耳が聞こえづらいので、避難情報を知らせに来てもらえるとありがたい。

土日なら、安否確認に協力できます

物資の配達や炊き出しに協力できますよ

計画を立てるコツ

災害の種類により、避難方法もタイミングも変わります。次のようなことに気をつけながら決めていくと良いでしょう。

- 担当者を複数にしておく
- 避難支援者の事情に配慮し、役割分担する
- 考えを押し付けない
- 要配慮者本人も参加する
- 訓練で試しながら改良する
- 一度に解決しようとしめない（決められることから進める）

地域のみなさんの協力なしには作ったり管理したりできないんです。よろしくお願いします！

### Q 支援してくれる人が見つからなかったら？

**A** 自治会や自主防災組織などの団体を支援者とできる場合もあります。日頃から地域のみなさんと、顔の見える関係を作るようにしましょう。

### Q あれこれ支援してほしいと言われても困ってしまう・・・

**A** 「お互いさま」の支えあいです。無理せずできる範囲で協力しましょう。むしろ「なんでも任せて」といった約束はやめましょう。事故やトラブルのもとです。

### Q どんな支援が必要なのかよくわからない・・・

**A** 必要な支援については、要配慮者本人や御家族と相談しながら、一緒に考えていきましょう。

### Q 支援した際にケガをさせたときの賠償責任はどうなるの？

**A** 助けられなかった場合でも、避難支援者が責任を負うことはありません。なお、保険の適用（保険料の支払の必要）もありません。

災害発生直後は、市町や消防などの救助には限界があり、地域での支え合い・助け合いが最も重要です。まず「命を守る」ことをめざし、正確な情報収集と早めの避難に努めましょう。

地震発生時



グラっときたら！

- ①電気・ガスの安全確認
- ②地震の情報を収集（ラジオなど）
- ③周囲に声かけ・無事を確認
- ④避難の持ち出し品を準備

避難開始

- ①名簿により声かけ、安否確認
- ②計画に従い、避難所まで移動

周囲の被災状況や余震などに気をつけ、落ち着いて行動します。

避難直後

- ①避難所の部屋割りなど配慮
- ②避難生活を支援
- ③専門的な支援は、福祉施設などへ移送を依頼
- ④安否不明の人の捜索など

台風など風水害時



台風や大雨が予想されたら・・・

- ①天気予報や河川情報を収集
- ②要配慮者を訪ね、家の安全対策
- ③早めに避難の準備

夜間や風雨が強まってからの移動は危険。避難準備情報が出る前でも、早めに判断し、外が安全な間に避難しましょう。

避難準備情報の発表時

- ①速やかに避難

避難勧告・指示の発令時

- ①浸水などの危険がないか確認
- ②避難所までの安全が確保されるようであれば、避難所へ
- ③外へ出ると危険な場合は、家から出す2階へ移動する「垂直避難」

避難後の避難生活

避難後生活は普段と環境が一変するため、特に要配慮者にとってはたいへん厳しいものです。少しでも安心して良好な環境の中で生活できるよう、協力して支えあっていきましょう。

- ・毎日の声かけ、情報提供
- ・炊き出し、物資の配達
- ・本人や家族の要望聞き取り
- ・息抜きの場の提供
- ・市町や専門員、ボランティアなどへの相談



ふだんの声かけや訓練などを通じて、どのようなことに困るのかを確かめておき、支援できることを少しずつ分担しておくことが大切です。

いざというときにすぐ避難できるように、避難に必要な情報を、年に1回、整理しておきましょう。

わたしの避難メモ

(作成日： 年 月 日)

■わたしの情報

名前		生年月日	年 月 日	性別
電話		血液型	型	
住所			要介護度 障害等級	

■緊急連絡先

	氏名	続柄	電話番号
第1			
第2			

■助けをお願いする人

	氏名	続柄	電話番号
第1			
第2			

■医療・福祉サービス

	名称	担当者	電話番号
かかりつけ医			
利用している福祉サービス			
いつも飲んでいる薬			

■避難のときにこんな助けが必要です。